

袴を着てゐるをどういふか叔父のまへ唯鷹の脛ハ足で
それ鷹の足でかくせる杖の野は生ける葛原のまへ茂は
葛の中ゆくゝをどう追討くおちか落ゆくゝとよみあひ
そのやいふまゝとよみあひとめどおちか落とまへー又云此葛袴ハ
葛布とてつづれる袴と云くをこれとまへ元より萩と脛と
どういふ事か鷹の脛をあらわす鷹人の脛少くも
まへー葛ちうゆゑとまへ人の入野のまゆやんくも
まゆでまへ

杖の野はまへー杖とまへあひる人へ鷹のまをどういふ
古語はまをどういふ鷹とまへあひるまへー人へま